



夢実現・挑戦

津奈木中学校学校だより

令和8年6月15日

第5号

文責：校長 内場



違いを大切にする “学びの一步”

■ 1年生集団宿泊教室

1年生は集団宿泊教室で、防災をテーマにしたクラスミーティングに取り組みました。「避難所に犬を連れてきた人を認めるか」などの事例をもとに、自分ならどう行動するかをグループで話し合いました。

「犬も家族だから一緒にいるべき」「アレルギーの人もある」「場所を区切ればよいのでは」など、立場によって意見が分かれてきましたが、どの生徒も真剣に考え、互いの意見に耳を傾けていました。学年主任の荒川先生は、「正解は一つではなく、避難所にはさまざまな考えの人がいることを知ることが大切。」とまとめました。

今回の学びは、災害時だけでなく、日常の学校生活にも通じます。違いを認め合い、折り合いをつけながらよりよい集団をつくる力を育む貴重な機会となりました。

今回の学びは、災害時だけでなく、日常の学校生活にも通じます。違いを認め合い、折り合いをつけながらよりよい集団をつくる力を育む貴重な機会となりました。



【水俣病講話】



【磯遊び～ビーチフラッグ～】



【クラスミーティング～防災～】



【朝の集い～津奈木アピール～】

自分たちの学校を考える



■ 生徒総会

今年度の生徒総会では、よりよい学校生活について、活発な意見交換が行われました。

生徒会活動は、身近な「自治」を学び実践する大切な場所です。自分たちの学校生活をより良くするために、自分だけではなく周りのみんなにとっても過ごしやすい場となるように、しっかりと意見表明することができていました。



命を守るために

自分の命を守る行動ができることが、周りの命を守ることに繋がります！突然の災害に遭遇した時に、どのように安全を確保することができるか、日頃から考えておくことが必要です。

先日、歌う防災士として有名な柳原志保さんのお話を聞く機会がありました。その講話の中で、同じく防災士の息子さんが「非常時のために、20歳になった今でも11時には寝るようにしています。」と言われていました。早くに明かりが落ちる避難所でも眠れるように日頃の生活習慣を整えているとのことでした。小さなことですが生きるための大事な積み重ねです。

16日からはスマイル大作戦が始まります。生徒の皆さんの就寝時刻はどうでしょうか。

